

連続的な変化と不連続線

まるで月ごとに用意されている天気のカードがあるかのようですね。7月は長梅雨、8月は一転、焼け付くような猛暑、そして9月となったとたんに連日の曇天と蒸し暑さ。よく日本の気候は四季が明瞭であると表現されますが、四季に加えて二つの雨期を挟むと、より実感に近いものになります。春と夏の間の梅雨と、夏と秋の間の秋雨（秋霖）で、この両者の存在が我が国の気候を特徴づけています。

梅雨の時期には天気図上に梅雨前線が現れますが、秋雨の時期にはこれとよく似た秋雨前線が現れます。この二つの雨期は、対をなす気象現象といってよいでしょう。梅雨前線や秋雨前線が発生する理由は、高緯度からの寒気と低緯度からの暖気がぶつかり合うため、二つの気団は容易に混ざり合わないため境目（前線面）ができるからです。この境目では上昇気流が発生するなど、大気の状態が不安定になります。

季節により寒気と暖気の勢力は変化します。夏に向かう際には梅雨前線が北上し、秋に向かう今の時期には秋雨前線が南下してきます。梅雨や秋雨の時期には、その境目が日本付近でせめぎ合うために前線が停滞して、雨の期間が続くのです。停滞する要因にはヒマラヤ山脈やジェット気流などの存在もあるといわれますから、南アジアから東アジアに広がるスケールを持つ気象現象ともいえそうです。

秋雨前線が停滞しているところへ南から台風が北上してくると、暖かく湿った空気が供給され続けるために、前線の活動が刺激され大雨になることがありますので、より一層の注意が必要です。

この週末から来週初めにかけては、先日の台風9号と同じようなコースをとって台風10号が、沖縄・九州方面へ接近、または上陸しそうな様相です。台風10号は特別警報級の猛烈な勢力に発達する恐れがあるとして、気象庁などは早めの警戒を呼びかけています。群馬県への直接の影響はあまりないかもしれませんが、気象衛星の画像を見ると、不気味なほどはっきりとした台風の目を中心に、周辺の広い範囲に雲が広がっている様子が分かります。南からの湿った空気が流れ込みますので、蒸し暑さに加えて、大気の状態が不安定となり各地で雷雨が発生するという事も考えられます。熱中症や雷に対する警戒を怠らないようにしてください。

ところで、前線は不連続線です。気温や湿度、風などの気候の特徴を表すものを気象要素といいますが、大気中における気象要素の分布は、気団の境目である面を境にして、値や変化傾向が連続せず、不連続になっています。この面を不連続面といい、それが地表面と交わる線を不

連続線というのです。前線は、その一種です。

私たちの日常における変化にも、連続的に変わるところもあれば、不連続に一変するという場合もあります。学習やトレーニングなどは、少しずつ成長や変化していく例に近いと思います。一方、進学や就職などで環境が一気に変わる場合や一大決心をする場合などは、不連続線を越えるイメージでしょうか。

日々の成長は劇的な変化が感じられませんから、目標に向かって粘り強く継続する姿勢が求められます。逆に少しばかり手を抜いてもそのマイナス効果を感じにくいので、取組を怠ってしまうことにもなりかねません。ウサギとカメのレースの寓話では、視線をカメに向けていたウサギと、おそらくは目標や足下に視線のあったカメが対比されています。影響は、徐々に蓄積されていき、変化に気付くのはある程度の時間が経過したとき、すなわち変化が見えるようになってからです。

不連続線を越える場合は、変化に対する適応が課題になると思いますが、気象の場合のように、ある程度備えることは可能です。また、不連続線が近づけば、その変化が近いことが感じられたり、情報としてキャッチできたりする場合もあるでしょう。いずれにしても、一日一日を大切にしていきたいものですね。

志望校から受験校へ

9月、進学を希望する3年生にとっては、「志望」校から、より具体的な「受験」校へと気持ち徐々に切り替えていく時期となっています。自分の学習計画に基づいた取組を粘り強く進めていきましょう。多くの場合、夏休みくらいまでの時期には、基礎の徹底や苦手の克服などに重点が置かれていると思いますが、これからは、それらに加えて応用問題などにも取り組んでいきましょう。

さて、今年度からは「大学入学共通テスト」となります。先日は出願説明会も行われ、いよいよ出願に向けて進んでいきます。今年度の場合、新型コロナウイルス感染症の影響もありますので、国公立短大では、総合型選抜での配慮、学校推薦型選抜での配慮、追試験の実施、振替の実施、科目数等について、各大学等で措置が講じられています。これらは、各大学等のホームページで確認することが第一ですが、文部科学省のホームページでも確認できます。「令和3年度大学入学者選抜での新型コロナウイルス感染症対策に伴う各大学等の試験期日及び試験実施上の配慮等の対応状況について」と題して全国の国公立短大等が講じた措置がまとめられています。参考にしてください。
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/koudai/detail/mext_00060.html